

行政評価シート【重点戦略】

重点戦略４－（２）

生活拠点づくりを推進する

基本的な方向性

●生活利便施設※^１の誘導や既存ストックの活用によって、各生活圏への機能集積を促すとともに、各拠点における魅力向上を図るほか、西部地域では地域資源の活用を推進します。

※１ 医療・商業施設など日常生活に必要な施設のこと。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
平塚駅周辺における共同建て替え相談件数【累計】	－	４件	４件			４件
魅力化実施店舗★ ^１ 数【累計】	70 店舗	80 店舗	82 店舗			95 店舗
市民主体のまちづくりに向けた意見交換★ ^２ の実施回数	９回	13 回	11 回			14 回

★１ 来店者が楽しく買い物できるよう店舗改修やオリジナルの商品開発、ものづくり体験など魅力的なサービスの提供等を実施していく店舗のこと。

★２ 郊外部における地区まちづくり協議会や自治会との意見交換等のこと。

戦略推進のための主な取組の「成果」

- ・西部地域にふさわしい土地利用の誘導を図るため、市民や関係団体等からの意見を踏まえ「都市マスタープラン」の一部改訂をしました。また、市民主体のまちづくり等について、地区まちづくり協議会等と意見交換を実施しました。
- ・「平塚駅周辺地区将来構想」の実現に向け、道路や公園等の再整備とエリアマネジメントの推進に係る事業内容等を整理し、「平塚駅周辺地区みんなのリビングロードマップ」及び「都市再生整備計画」を策定しました。また、平塚まちなか活性化隊の支援を通じて、官民連携したまちづくりへの環境醸成を図りました。
- ・ＥＣサイト構築支援や専門知識を有するアドバイザーの派遣などにより、個店の販売力や経営力の強化を支援しました。また、匠の店の認知度向上のため、公民館と連携して匠の店の技術を体験する教室を開催しました。

- ・平塚まちなか活性化隊や商店街団体などによる活動を支援するとともに、平塚駅周辺地区の空き店舗を活用して出店する事業者に対する店舗賃借料を補助しました。また、個店の魅力を伝えるまちゼミの取組を支援することで、中心市街地のにぎわい創出や商店街の活性化を促進しました。
- ・「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」を含む産官学民の協働で、地域資源である里地里山を保全・再生するための検討を進め、協議会が策定した地区まちづくり計画を認定しました。また、協議会が主体となって開設した農作業学習体験農園の運営を支援しました。加えて、里山保全協議会による里山の整備及び管理を行うとともに、市民活動団体を支援しました。

戦略を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・平塚駅周辺地区では、にぎわいの創出と利便性を高め、人が集まり居心地の良いまちにする必要があります。
- ⇒「平塚駅周辺地区将来構想」の実現に向けて策定された「平塚駅周辺地区アクションプラン」を活用し、官民で連携して持続可能なまちづくりを進めます。
- ・集客や購買につながる商店街などの活動を促進するとともに、駅周辺地区においては、空き店舗対策に取り組むほか、魅力ある商店街づくりを促進する必要があります。
- ⇒商店街が行う交流事業や販売促進事業などに対し、事業費補助などの支援や空き店舗の活用などに係る補助を行うとともに、商業者など地域が主体となったまちづくりの取組を支援します。
- ・西部地域では、恵まれた自然を活かしながら地域の活性化を更に進める必要があります。
- ⇒引き続き地域や学術機関等と連携して地区全体の魅力を発信するとともに、「地区まちづくり計画」に掲げる施策について、関係機関等との協議、調整及び実現に向けた支援を進めます。

戦略推進のための「【取組】（事業）」

- 【地域特性を踏まえた生活利便施設の誘導】（都市計画策定事業）
- 【平塚駅周辺地区における多機能化の促進】（駅周辺地区活性化推進事業、フェスタロード・オフィス開設支援事業）
- 【魅力ある店舗づくりや商店街づくりの支援】（商店等魅力アップ推進事業、商店街にぎわい創出事業）
- 【環境保全活動や農を活かした取組への支援】（西部丘陵地域資源まちづくり支援事業、里山保全推進事業）